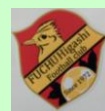


平成30年 12月22日

風は東から



To be continued...

平成最後の鍛錬期がスタート!!
冬はTRM&FES三昧で揉まれます!!

平成最後の冬の鍛錬期に突入!!

“F-Higashi Style 進化論” で、新たな課題にチャレンジする!!

11月25日(日)に、新人戦 VS 三鷹中等敗退後のその瞬間(日)から、東高サッカー部では早速、ひと足早い冬の鍛錬期に突入しました。「弱いチームに休みはなし!!」の精神で、その日のうちには、直ぐに学校へ戻り大成高校とTRMを行い、そこから毎週末+平日にはTRMで揉まれていて既にもう15ゲームは行っています。ゲームが一番のTRであるスタンスは新チームも変わりません

さて、毎年恒例となった、冬の鍛錬期の代名詞といえば、12月22日(土)から三日間の川崎カップ、26日から四日間はトップが東京ユースフェスティバルと並行してサテは東高サッカーカーニバルが30日まで行われます。この間は、一日最低二試合は出場ができ、子どもたちは心身ともに疲れも溜まって厳しいのですが、個々が成長できる一番重要な時間でもあります。この鍛錬期のゲームは、ただ漫然とゲームに出てプレーするのではなく、目標に向かって目的意識をもって臨んで欲しいと思います。この意識の差が、春-夏になって成果となって現れます。

新チームでは、「F-Higashi Style」を更に進化させるために、ここまで積み上げてきたことに新たな取り組みを加えていこうと考えています(スタッフも日々学びが必要です)。東高スタイルは、ジグゾーパズルを解くように複雑な動きに見えるようですが、ベースはシンプルなことの組み合わせとそれを理解できる(しようとする)力が大切です。もちろん、東高スタイル確立には時間が必要であり、一朝一夕にはいかないことも多々ありますが、今までのように新チームもそれに向かって進化していけるよう、コツコツと積み上げていきます。

第七回 東高少年サッカー大会



「第七回 東高杯 少年サッカー大会」

～平成から未来へ、日本のフットボールを変えるのは君たちだ!!～

12月8日(土)、東高グラウンドで「第七回 東高杯 少年サッカー大会」を行いました。今年度は、二回目の少年サッカー大会の開催となります。前大会より、子どもたちやチームスタッフ、保護者の方々へ、東高サッカー部で取り組んでいることの一部に少しでも触れていただくことで、サッカーサービスを共有でき、将来のあるサッカー少年たちの意識改革に繋がればいいと思い、東高スタッフの方々やスポーツショップ及び各種メーカーの方々にも、この趣旨に賛同していただき協力してもらいました。サッカー少年だけではなく、保護者やスタッフの方々からも大好評でした。今後も、継続していきたいと考えています。



＜東高では足元(土壌)から見直す＞

また、今大会の新たな試みとして、東高サッカー部GKコーチ松本氏(A級GKコーチ)による、GK講習会が行われました。時間の関係で、本当に基本の「き」しかできませんでしたが、講習会を参観していた指導者からは「とても参考になりました。」と言われました。その他にも、モアスポーツの善本さんによる、東高も使用して三年目となる指導者要らずのボール「ダービースター」のキック講習会も並行して行われ、ボールの中心をしっかりとらえるという「当たり前のことを当たり前に行えるように」と教わり、普段のボールとの違いを確かめていました。



＜左から松本GKコーチ、善本さん、AMO鈴木氏、ダービースター小川氏＞

今回は、五・六年生の大会でしたが、普段とはサイズ感の違うたくさんのサッカー少年たちが、一日中日楽しそうに東高の広いグラウンドでボールを追い回している姿を見ていると、高校生も童心に戻ります。サッカー少年たちのひた向きのプレーの中に、忘れてはならないスポーツのエッセンスがあると思います。今大会でも、高校生顔負けのプレーで驚かせてくれた少年たちが何人もいてまだまだ子どもたちの伸びしろを感じました。

大会当日は、東高サッカー部員が全て、グラウンド設営や運営、レフリーを行い、サッカー小僧たちの兄貴分としてお世話をしました。高校生も、多くのコーチや保護者の方にお世話になり、現在があるので、その恩返しが少しでもできたのではないかと考えています。少年サッカーチームのスタッフ及び保護者の方々からも大変感謝されました。子どもたちの笑顔は、パワーになります!!